

企業業績の改善による株価上昇に期待

Raku
Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am
fund academy

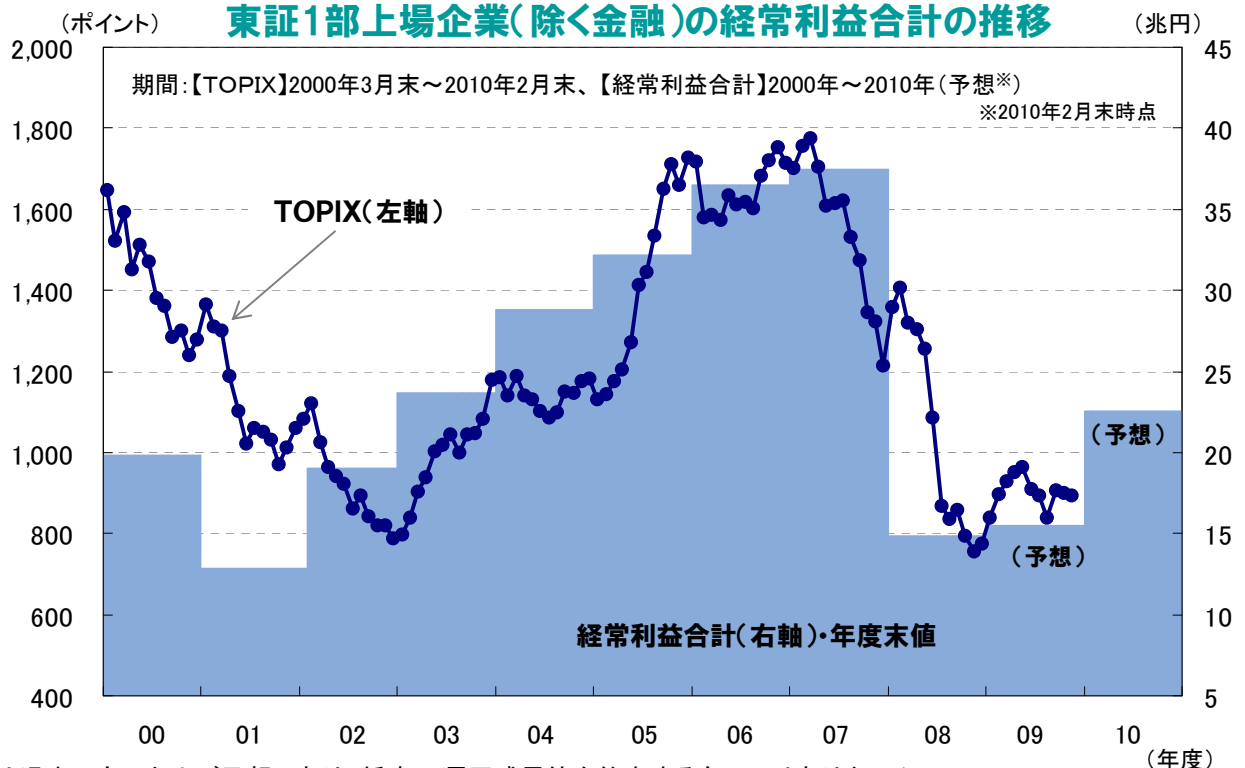
世界景気の回復などを受け、日本の企業業績は改善傾向にあります。2010年度の東証1部上場企業(除く金融)の企業業績は、経常利益ベースで+45%と高い増益率が見込まれています。

一般に、株価は長期的には企業業績を反映するといわれていますが、現在の業績は既に株価に反映されていることもあるため、将来の業績に対する見通しや期待がより重要になるとみられます。足元の株式市場において、2010年度の企業業績予想がどの程度株価に織り込まれているかを計ることはできませんが、大幅増益に対する確信が増すことや、一段の業績改善傾向が見られることなどが、今後の株価上昇の鍵になるとみられます。

現在、欧米各国の中央銀行が異例の金融緩和策からの「出口」を模索しつつあるのに対し、日銀は長期にわたって低金利政策を維持するとみられていることから、長期的には円安との見方が広がっています。こうしたことは、円安による輸出関連企業の業績を押し上げ、ひいては企業業績の一段の上振れ期待につながると考えられます。

短期的には、為替市場における円高の進行や中国の金融引き締め・南欧の財政問題に対する警戒感などが株式相場の重石となっていますが、このような外部環境が落ち着いた場合の上昇余地に加え、円安傾向となった場合の上昇余地が見込まれるなど、日本株式の魅力が増しているように思われます。

TOPIX(東証株価指数)と 東証1部上場企業(除く金融)の経常利益合計の推移



※上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。